



参加する 山主・商店 を募集します。

いま全国の山村では手入れのされない放置林が増え真っ暗、木々も打ち捨てられて無惨。商店も減少の一途で、地域に暮らし続ける不安でいっぱいです。

そんな中で、09年恵那市中野方町で始まった「木の駅」が全国に広がり、各地から視察が訪れています。今度は山岡町を拠点に、恵那南地域で実施しませんか。

スギ・ヒノキの間伐材や林地残材が6000円/トン（軽トラ2杯程度）相当を、地域通貨（モリ券）で支払われています。太さ5cm以上、長さは50cm～2m、曲がっていても古くても大丈夫です。



チェーンソーと軽トラで晩酌を！



▲「木の駅」のシステム概念図

● 木の駅プロジェクトとは

これまでお金にならなかった林地残材や間伐材を、寄付や公的資金を足して、1トンあたり6000円程度で買取り、その地域の地元商店でのみ使える地域通貨で支払い、山も地元商店も元気になる仕組みです。

* 12月18日に山岡区さくら会館で勉強会を実施しました。

**申込は不要です
是非おいでください！**

① 1/31(木)夜7時～「山岡農村環境改善センター」で準備会

関心のある山主と商店みんなで、木の出荷や地域通貨の流通のルールを決めましょう

② 2/5(火)夜7時～「山岡農村環境改善センター」で説明会

出荷者登録、商店登録、出荷方法、出荷場所、地域通貨発券・流通、商店の換金の方法などの説明・質疑

主催：恵那南木の駅プロジェクト準備会
共催：恵那市、笠岡木の駅実行委員会、NPO法人夕立山森林塾、(株)花白の湯、
問い合わせ：恵那南木の駅準備会事務局 090-7686-0636 (山口)、 090-9916-1546 (丹羽)